

リスク管理の体制

金融の高度化・多様化・グローバル化が進展するに従い、金融機関が直面するリスクは量的に拡大し、質的にも多様で複雑なものとなってきました。日々変革する時代の中で健全性を保ち収益性に優れた経営体質を実現する為には、経営全般にわたるリスク管理体制の整備が重要課題となり

ます。

当金庫では、各種リスクに対する管理体制を整備し、それぞれのリスクをコントロールすることにより、経営の健全性と体質強化に努めております。

信用リスク管理

信用リスクとは、経済環境等の変化による信用供与先の財務状況の悪化から、貸出金等債権の元本や利息が約定通り返済されなくなるリスクのことをいいます。

当金庫では、貸出資産の健全性を維持向上させるために、審査部による審査管理体制を強化するとともに、外部講師

による職場内研修や外部研修等の積極的活用により、職員の審査能力の向上を図っております。また、当金庫では「自己査定委員会」組織を設置し、金融検査マニュアルに基づく「自己査定規定」により資産の自己査定を行い、資産の健全性を図っております。

市場リスク管理

市場リスクとは、金利、為替、有価証券等の市場変動によって保有する資産の価値が変動するリスクのことをいいます。

当金庫では、上記リスク変動に対応するため「A L M (資産・

負債の総合管理)委員会」を定期的で開催し、市場金利等が変動した場合の影響度合いを把握し、資金の運用と調達管理を行っております。

流動性リスク

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出や、運用と調達のミスマッチ(期間のずれ)により、資金が不足し、高コストの資金調達や不利な価格での取引を余儀なくされ、利益が減少したり、資金調達に懸念が生じたりするリスクのことをいいます。

当金庫では総務部において、運用と調達の管理を行っております。

また、定期的で開催する「A L M委員会」で検証することにより常時適正な流動資産を確保して、不測の事態に備えております。

事務リスク管理

事務リスクとは、事務上のミスや不正等により損失を受けるリスクのことをいいます。当金庫では、検査部による定期的な臨店検査を実施しているほか、営業店での定期的な

店内検査を義務付けております。また、事務改善委員会の定期的な開催により、営業店事務の改善点の指摘と事務の統一化、合理化ならびに正確な事務処理に努めております。

システムリスク管理

システムリスクとは、コンピュータ・システムのダウン又は誤作動等、システムの不備等により損失を受けるリスクや、システムの不正使用による損失のことをいいます。当金庫のオンライン・システムの運用・管理は信金東京共同事務センターが行っており、同センターは、災害等の対策として万

全なバックアップ体制を整備しております。また、当金庫は、コンティンジェンシープランの策定により、各種システムの誤作動やダウン時の対策にも万全な体制を確保いたしております。